

Under the Same Blue Sky 同じ青い空の下で (作品『朝食後にかかる虹』記録写真のコレクション)
2009-
プロジェクト / アコーディオン・ブック (紙、インクジェット印刷)
設置箇所: 50以上 / 印刷物: 10x380cm (2018年現在)

インスタレーション作品『朝食後にかかる虹』から派生した、現在進行形プロジェクト。遠くに住む友人たちにインスタレーションの素材を送付し、世界中に散らばるその家々に設置された作品の記録写真を撮影、返送してもらっている。随時制作するアコーディオン・ブックは、集まった写真をつなげて、ひと続きの風景にしたもの。

朝食後にかかる虹

旅の途中、ホテルで独りの朝食をとり終えたとき、目の前に虹が現れた。食器の上に残された果物の皮。眼に映る風景を共有すべく、携帯電話のカメラで撮影した写真を彼方に住む数人の友だちに送信した。そして、その「虹」を空に戻すことにした。

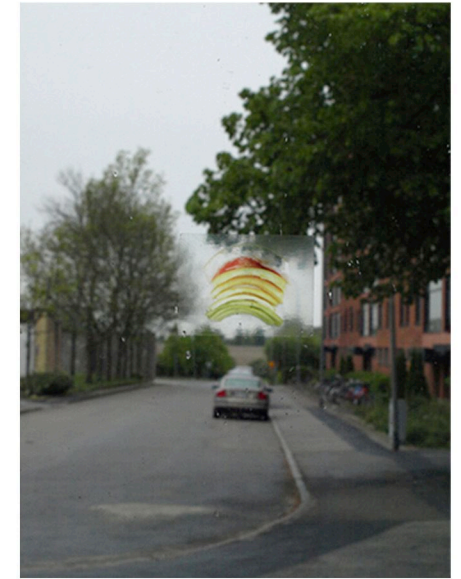
窓から見える風景とつながるように、そして時間・空間・心理的な距離のあるものの間にも橋を架けるように、果物の皮を印刷した透明のステッカーを窓に貼付けた。

虹のあとの虹

背景にある物語と設置方法、記録写真を返送してくださいというお願いを記した手紙を添えて、その「虹」のステッカーを世界各地に暮らす友だちに送り始めた。さまざまな日常の眺めとともに収まった「虹」の写真は増え続け、そのコレクションをアコーディオン・ブックにして展示するとともに、オンラインのアルバムやスライドショーを通して公開している。

ひとつの景色

アコーディオン・ブックでは、すべての写真をひと続きの風景として提示している。水や屋根、夕焼けの色調など、それぞれの「虹」の背景の中に同一もしくは似通った要素を見つけ、それらをひとつひとつ繋いでゆくと、ひとつの景色が水平に広がっていく。



(左頁、上から下) 「虹」のステッカーと手紙の添えられた、アコーディオン・ブックのインスタレーション風景; アコーディオン・ブックの詳細 (右頁、上から下) ステッカーに印刷された、朝食後の食器に残る果物の皮の写真; スウェーデン・レントでの『朝食後にかかる虹』初の展示風景; アイスランド・レイキャビックの友人から送られてきた、当プロジェクト最初の記録写真

